

■ 観点1

自分自身で自分の人生を主体的に切り拓いていく意思を持ち、自分の未来をつくりだす能力を育成すること

- ＜取組みの基本的方向＞
- (1) 社会的・職業的自立に向けた能力や態度の育成(キャリア教育の充実)
 - ・職業観・勤労観の育成と社会・職業理解
 - ・子どもの発達段階に応じたキャリア教育の推進
 - ・教員の意識や指導力の向上
 - (2) 人生を設計する力・学び続ける態度の育成(ライフプラン教育の充実)
 - ・人生を設計するための基本的知識の習得
 - ・目標を持ち、人生を設計する力の育成
 - ・変化を前向きに受け止め、生涯学び続ける態度の育成



具体的な施策

(1) キャリア教育の充実

○社会に学ぶ「14歳の挑戦」
県内全公立中学校2年生が連続5日間の職場体験や福祉・ボランティア活動等を実施



介護施設での職場体験

新 社会へ羽ばたく「17歳の挑戦」
新たに実施するアカデミック・インターンシップを含め、企業などで就業体験



企業における就業体験

新 小中学校キャリア教育充実事業

キャリア・パスポートを作成し、自分の取組みを振り返り

○富山型キャリア教育充実事業
小中学校での起業体験や高校でのインターンシップの推進など、発達段階に応じたキャリア教育を充実

(2) ライフプラン教育の充実

○とやまの中・高校生ライフプラン教育の充実

富山で働き子育てする良さと自らの生き方に関する副教材の活用など、発達段階に応じたライフプラン教育を充実
(H30 高校生の赤ちゃんふれあい体験 28校3,109人)



「富山県における人生100年時代ひとづくり構想会議」提言と具体的な施策（2）

■ 観点2①

子どもや若者がふるさとを拠りどころとして、地域や国際社会に貢献しようとする態度を育成すること

＜取り組みの基本的方向＞

（1）ふるさとに誇りと愛着を持ち、社会に

- 貢献する人材の育成（ふるさと教育）
- ・学校における「ふるさと学習」の推進
- ・県民総参加で取り組む「ふるさと学習」の推進

（2）ふるさとを拠りどころとして、グローバル

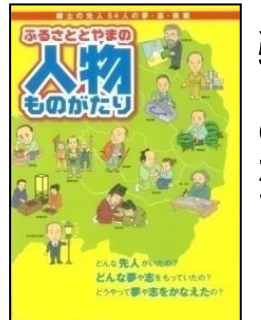
- 社会で活躍する人材の育成（グローバル人材の育成）
- ・英語による確かなコミュニケーション能力の育成
- ・グローバルな視点で課題を解決できる資質・能力や態度の育成

具体的な施策

（1）ふるさと教育の推進①

- 「ふるさととやまの人物ものがたり」や「ふるさととやまの自然・科学ものがたり」の活用

小学校高学年向け副読本を活用したふるさと学習の充実



ふるさととやまの人物ものがたり

- 高校生郷土史・日本史学習教材活用事業

補助教材等を使用した郷土史・日本史の学習

授業の例

- ・「東アジア世界」の単元で「**大伴家持の越中国守時代**」
- ・「結びつく世界と近世の日本」の単元で「**北前船の活躍**」

半数近くが**使いやすい**を実感



- 各種コンクールの実施

- ・ふるさと教育推進事業
小学5、6年生を対象に「ふるさとの優れた先人に学ぶ」作文コンクールを実施
- ・「高志の国文学」情景作品コンクール開催事業
中・高校生を対象に文学・美術・写真による情景作品コンクールを実施

「富山県における人生100年時代ひとづくり構想会議」提言と具体的な施策（3）

■ 観点2②

具体的な施策

(1) ふるさと教育の推進②

① 新 はつらつ公民館学び支援事業

公民館を拠点とした地域課題の解決に向けた「学び」のモデル的な活動を支援



南砺市西太美公民館
における餅つき



舟橋村立舟橋村公民館
における水生生物観察

(2) グローバル人材の育成

○ 小学校英語教育モデル事業

英語専科教員の配置

モデル校29校に加え、全市町村に配置



② 新 ICTを活用した英語教育推進事業

英会話アプリを活用し、児童生徒の英語力を向上

○ とやま型スーパーグローバルハイスクール事業

海外有名大学等での現地研修や
事前事後研修を支援

(H30：8校 227名参加)



高校生の海外研修

○ とやまの高校生留学促進事業

高校生等の異文化理解を深め国際的な人材の育成を
図るため、県内高校生等の海外留学を支援

(H30：2校40名)

○ 高等学校生徒海外派遣事業

ふるさと富山の魅力発信などについて事前研修を行い
派遣地において生徒間交流を実施 (H30：20校20名)

「富山県における人生100年時代ひとづくり構想会議」提言と具体的な施策（4）

■ 観点3

認知能力を伸ばしていくことに加え、非認知能力（意欲、協調性、課題解決能力等）やICTリテラシーなど、新たな時代に求められる能力を育成すること

＜取組みの基本的方向＞

- (1) 主体的・対話的で深い学びの推進による確かな学力の育成
- (2) 様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決し、新たな価値を生み出す力の育成（探究力等の育成）
- (3) 情報や情報技術を活用していく力の育成（ICT教育の充実）



日本史の授業の様子（砺波）

具体的な施策

探究力等の育成

① 幼児教育センターの設置

幼児教育の研修内容を充実させるため、「幼児教育センター」を設置、幼稚園等にアドバイザーを派遣



○ とやま科学オリンピックの開催

子どもたちの科学に対する関心を高め、科学的才能を引き出して伸ばすことも目的に、小・中・高校生を対象に開催

ICT教育の充実

② ICT教育推進事業

ICT機器を活用した効果的な授業を推進

校内に無線LAN環境を整備

実施校：27校→42校

タブレット：1,024台→1,522台



魚津高校への知事視察

③ 小中学校におけるICT教育総合支援事業

小中学校のICTを活用した授業改善を支援

「富山県における人生100年時代ひとづくり構想会議」提言と具体的な施策（5）

■ 観点4

誰もが何歳からでも、何度でも学び直し、能力を高める機会と環境があること

＜取組みの基本的方向＞

- (1) 一人ひとりのライフスタイルに応じたキャリア選択を行い、新たなステージを求めることができる能力・技術を身に付ける機会の提供
 - ・学ぶ人のニーズにあった多様な学習、職業能力開発の機会の提供
 - ・生涯にわたる多様な学びとその活用の推進
- (2) 学び直しを推進する環境づくり
 - ・学び続ける人材の育成
 - ・学びやすい環境の整備
 - ・産学官の連携体制の構築

■ 観点5

家庭、学校、地域・社会、産業界、行政機関が連携してひとづくりに取り組むこと

＜取組みの基本的方向＞

- (1) 家庭に望むこと
- (2) 地域・社会に望むこと
- (3) 産業界への期待
- (4) 高等教育機関への期待
- (5) 行政機関への期待
- (6) 連携強化のための取組み

具体的な施策

連携強化のための取組み

① キャリア教育等連携推進会議の設置

関係機関が連携し各事業の成果や課題を検証